

目次

- 4 江別市長 退任インタビュー
- 6 令和5年度 江別市の予算
- 11 新型コロナワクチン 最新情報 ほか
- 12 【ゴミこみえべつ】資源物の出し方 ほか
- 24 【健康×暮らしナビ】緑の相談 Q&A ほか
- 27 総合型地域スポーツクラブ ほか

2023

4

vol.1002

【TOPICS】

市民の皆さまの健康増進を目指し スマートフォンアプリを構築しました

出張スマホ教室開催中！

2月から市役所本庁舎前や市内公民館の駐車場などで、車内でスマートフォンの使い方を学べる「出張スマホ教室」を開催しています。詳細は、3ページまたは右下のQRコードからご覧ください。





市民の皆さまの健康増進を目指し

スマートフォンアプリを構築しました

お使いのスマートフォンにアプリをインストールすると、ご自身の健康状態をいつでも手軽に確認できるようになります。

一人一人に合った健康維持のサポートとして、日々の健康づくりに役立てることができそうです。

生涯健康プラットフォーム推進事業は、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用しています。

【詳細】デジタル政策担当

☎ 802-8315

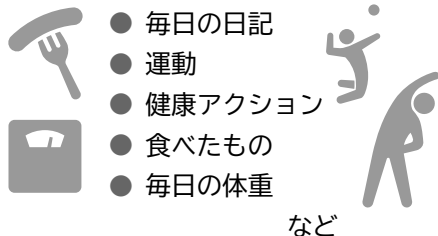


健康記録アプリ eダイアリー

“記録の習慣化”により健康維持・増進をサポートするアプリです。自分の状態を記録し、それを習慣化することが、健康改善への第一歩。自分だけの健康記録を手軽に溜められます。

eダイアリーアプリでできること

自分の健康状態を記録



- 毎日の日記
- 運動
- 健康アクション
- 食べたもの
- 毎日の体重

など

その他

- 貸し出しているスマートウォッチ(eウォッチ)を連携すると、歩数、運動距離、消費カロリーなどが自動で記録されます。



健康情報の記録を手助けする

スマートウォッチ(eウォッチ)の貸し出し

申込受付中

貸し出し要件

- eダイアリーをご利用いただく方
- 市内在住の方
- 15歳以上の方
- マイナンバーカードをお持ちの方

※ 申し込み方法は、右のURLまたはQRコードからご確認ください
※ スマートフォンの貸し出しも行っています



スマートフォンアプリの
利用開始までの流れ

- ① アプリ(eダイアリー、eライフトレーナー、えべつ市場)をインストールする
- ② めぶくIDアプリをインストールする
- ③ マイナンバーカードで本人確認を行い、めぶくIDを取得する

※ 各アプリを利用するためには、「めぶくID」の取得が必要です

詳細はこちら <https://ebetsu-diary.org>

QRコードからアプリをインストールできます!



お買い物アプリ 生涯健康マルシェ 「えべつ市場」

“食の健康セレクトショップ”として、江別市をはじめ全国から身体に良いものをお届けします。

こんな商品を購入できます

- 皆さまの健康維持や増進に役立つ食品
- 安全安心にこだわって作られた食品
- ヘルシー Do・機能的食品などの認証食品
- 地元産の食材を使った商品

など



健康管理アプリ eライフトレーナー

ご自身の血圧や体重、血液検査などの健康診断の結果や食・生活習慣、健康情報をアプリ一つで管理・閲覧できる仕組みです。

こんなことが可能です

- 食・生活習慣の目標設定
- 健診結果の登録、確認
- AIによる健康状態チェック
- 食事の写真から栄養バランスを採点
- 質問に答えてストレス状態をチェック

など



アプリを利用するためには「めぶくID」の取得が必要です

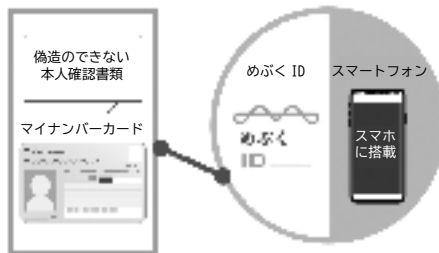
めぶく ID はパーソナルデータを自分自身で管理できる「安全・安心・便利」な ID です。発行にはマイナンバーカードとパスワードが必要です。

※ この ID は国の認定を受けた電子署名法の認定証明書を備えた信頼性の高い ID です



本人であることの担保

めぶく ID の
セキュリティ
安全ポイント



- ① 国から認定された機関が発行した ID
- ② ID を使うことで個人情報のやり取りがないため、匿名性が担保される
- ③ 強固ななりすまし対策を実現した技術を採用

スマートフォンの利用に不安がある方へ 出張スマホ教室に参加しませんか

参加無料

移動型スマホ教室車両が各会場に来て、スマートフォンの使い方が学べます。



【日程】

会場	実施日
江別市役所（正面玄関前）	4/6（木）・13（木）・20（木）・27（木）
野幌公民館（駐車場）	4/7（金）・28（金）
大麻公民館（駐車場）	4/14（金）
中央公民館（駐車場）	4/21（金）

【開催内容】

▼スマホ体験会

- ① 入門編 11:00 ~ 12:00
 - ② 基礎編 13:00 ~ 14:00
 - ③ 応用編 14:30 ~ 15:30
- 各日 3 回、定員 3 名



▼スマホ相談会

16:00 ~ 16:45
各日 1 回、
定員 1 組
(1 ~ 3 名)

【申込方法】

各開催日の前日までに、電話で申し込み。

☎ 0800-111-9442（フリーコール）

受付時間：10 時 ~ 18 時（年中無休）

※ 上記アプリの体験会ではありません



16年間の市政を振り返って

江別市長

退任インタビュー

江別市長 **三好 昇** みよし のぼる

略歴

- S47.5 北海道職員採用
- H17.4 北海道石狩支庁長
- H19.5 江別市長
- R 5.4 江別市長 退任（4期16年）

要職

- R 1.5 北海道市長会 副会長
- R 2.6 全国市長会 副会長
- R 3.5 石狩地方開発促進期成会 会長
- R 4.6 全国市長会 副会長

この度、私は4月30日の任期をもって江別市長を退任いたします。

4期16年にわたり、市長の重責を担うことができたのも、江別を愛する市民の皆さんのご理解とご協力があってこそと思い、心から感謝申し上げます。

― 就任当時にまず取り組んだことを教えてください

就任当時、市民有志の皆さんからの要請を受けて取り組んだ最優先課題が市立病院の再建でありました。当時は専門医制度の導入など極めて難しい状況でしたので、再建にあたっては非常に不安がありました。

また、市町村の財政も非常に厳しい状況でした。新篠津村との合併協議は、まちづくりに関し意見に相違があることなど判明し、市民の皆さんをはじめ、議会、自治会、企業、大学などのご協力をいただきながらどのような対応をすべきなのか自問自答の日々が続きました。

私自身、行政経験はありませんでしたが、市町村行政は素人ですのでもさまざまな意見をま

め切れるのか、そんな不安の中でのスタートでした。その際に、多くの市民の皆さん、議会の皆さんから背中を押していただき、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでした。

― 人口減少問題にも直面していましたか

4期16年を振り返ると大きな課題となりましたのが、人口減少の問題をどう対応するかでありました。さまざまな意見がありながら何から進めていくかが課題でした。

その中で大変うれしかったのが、若いお母さんたちお父さんたちが江別で子育てをしたいと思ってくれていることが判明し、その中で何が一番求められているのか。子育て中の職員に集まってもらい議論をしていただきました。

そこでの意見は「雨の日でも雪の日でも自由に遊べる広場を作って欲しい」との思いのもと「子育てひろば ぽこあぽこ」を設置しようということになりました。お母さんたちの意見を取り入れ、子育ての目線で施設を作り、高い評価をいただいたことが大変うれしく思いました。

そのような観点から、子育て関連を充実すれば、もっと江別を選んでいただけるのではないかとヒントから、その後も保育所や学童保育の待機児解消、保育料の軽減を進めてまいりました。

総務省の発表では、当市は年少人口の転入超過が昨年は全国16位です。一昨年は18位で、5年間連続で全国20位以内となり、道内では札幌市と江別市だけです。そのような意味でも、市の取り組みが実績として現れているものと思っています。

子育て対策をさらに充実することにより、自然減を転入超過でカバーできれば、出生数の増も期待できるのではないかと考えております。

― 街づくりにどのような取り組みをされましたか

就任当時の課題の一つに「江別の顔づくり事業」があります。鉄道で分断されている野幌駅の北側と南側を鉄道高架でつなぎ、交通の利便性を高め、まちの活性化を進める計画です。

当時は大規模な事業でしたが、賛否両論ありましたが、

私は鉄道で分断された街に風穴を開ける極めて重要な事業であると理解してきました。この事業を完成することが必ずや江別の活性化につながるの信念のもとに進めてまいりました。

旧ヒダ工場が「EBBRI(エブリ)」という形で新たな商業施設に生まれ変わり、ホテルができ、そして市民交流施設「ぶらっと」が完成したことにより、野幌駅の南側に人の集まる場所と、さらには人がとどまる場所ができて、野幌駅を中心としたまちづくりの核ができたのではないかと思います。これも、顔づくり事業の一つの成果であろうと思っています。

健康づくり、そして高齢化への対応は

当市の課題の一つに、高齢化があります。団塊の世代の方々が多く、2025年には、全員75歳以上になります。

それまでに、健康に関連する対応として、健康づくりを進めていかなければならないと考え、取り組んだ事業が「健康都市宣言」であり、「江別版生涯活躍のまち構想」の実

施であります。

この構想には、福祉施設グループホーム、サービス付き高齢者住宅、地域の方と交流する施設として温泉やパン屋、食事ができる場所としてうどん屋、働く人たちの保育施設などの設置をお願いいたしました。

コロナ禍ということもあり、どのように利用されるのか心配でしたが、令和3年のオープンから18万人の方が利用されており、地域の方との交流の場ができたものと思っています。

これは市が目指す、あらゆる人たちが集い、そしてお互いに理解し助け合う「共生のまちづくり」のモデルになるものと思っています。

今後はこの流れをぜひ、地域の特性に合わせて、江別地区・野幌地区につながるよう努力していかなければならないと考えています。

市立病院の再建はどのように進められたのでしょうか

就任当時から、医師確保と経営再建は大きな課題でした。医師確保については、就任前から多くの方にアドバイ

スをいただき、特に、産科の再開にあたっては、当時の院長をはじめ、北海道大学の産科の先生に多くのご協力をいただきました。集約された産科の再開は確か江別市が初めてだと思います。その意味では、医師確保と経営再建の弾みをいただいたものと考えております。

また、札幌医科大学からも協力いただき、総合医の研修機関として指定され、総合医の研修をする体制を組むことができましたが、その後の指導医の退職により、再び経営危機を招きました。

その再建にあたっては、経営再建計画を策定し、その計画に基づき病院事業管理者として、旭川医科大学の元教授を招き、現在、その病院事業管理者のもとに、病院の再建を進めております。

経営再建には多くの時間をいただきました。この間、市民の皆さん、そして関係者の皆さんからの応援のお気持ちに伝えるためにも、職員一丸となって経営再建に努めていかなければならないと思っています。



やり残したことなどはありますか

振り返りますと、積み残した課題として、江別駅周辺の活性化、さらには市庁舎の耐震化などが残っています。さまざまな事情がありまして具体的な着手に至らなかったこと誠に申し訳なく思っております。

特に、江別駅周辺の活性化については、期待される事業が約束どおりに至らず、一からのスタートになったことを申し訳なく思っています。

庁舎の耐震化は、現在、国と協議中ではありますが、防災の観点からも急ぐ必要があると考えています。

最後に市民の皆さんにひとことお願いします

この16年間で振り返り、市の舵取りは十分であったのか皆さんの期待に十分応えることができたのか、不安でありますけれども、この間、多くの市民の皆さん、そして自治会や関係機関、関係団体の皆さん、大学や企業などの関係者の皆さんにご支援ご協力いただきました。皆さんからいただいた温かい心ご配慮は私の生涯の宝物となっています。

江別には、誇れる素材がたくさんあります。世界的に貴重な野幌原始林をはじめ、おいしい農産品もあります。さらに、大学などの研究機関もあります。そこには素晴らしい人材も自慢の企業もあります。そして、心温かい市民の皆さんもいらっしゃいます。私は、江別市がまだまだ発展することを確認しています。今後、市民の皆さんのますますのご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

(終)

江別市の予算

【詳細】 財政課 ☎ 381-1010



基本方針

令和5年度は、第6次総合計画の最終年度であることから、各政策の進捗状況や目標の達成状況を検証した上で、基本理念に掲げる「安心して暮らせるまち」「活力のあるまち」「子育て応援のまち」「環境にやさしいまち」の4つの柱と、根幹となる「協働のまちづくり」の考え方に基つき、予算を編成しました。

また、令和5年度は市長の改選期にあたるため、当初予算はいわゆる骨格予算となりますが、基本理念に基づいた「まちづくり政策」を推進するため、「えべつ未来戦略」の3つの戦略を中核に据え、重点的・集中的に事業を進めます。

さらに、人口減少と地域経済縮小の克服のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に推進します。

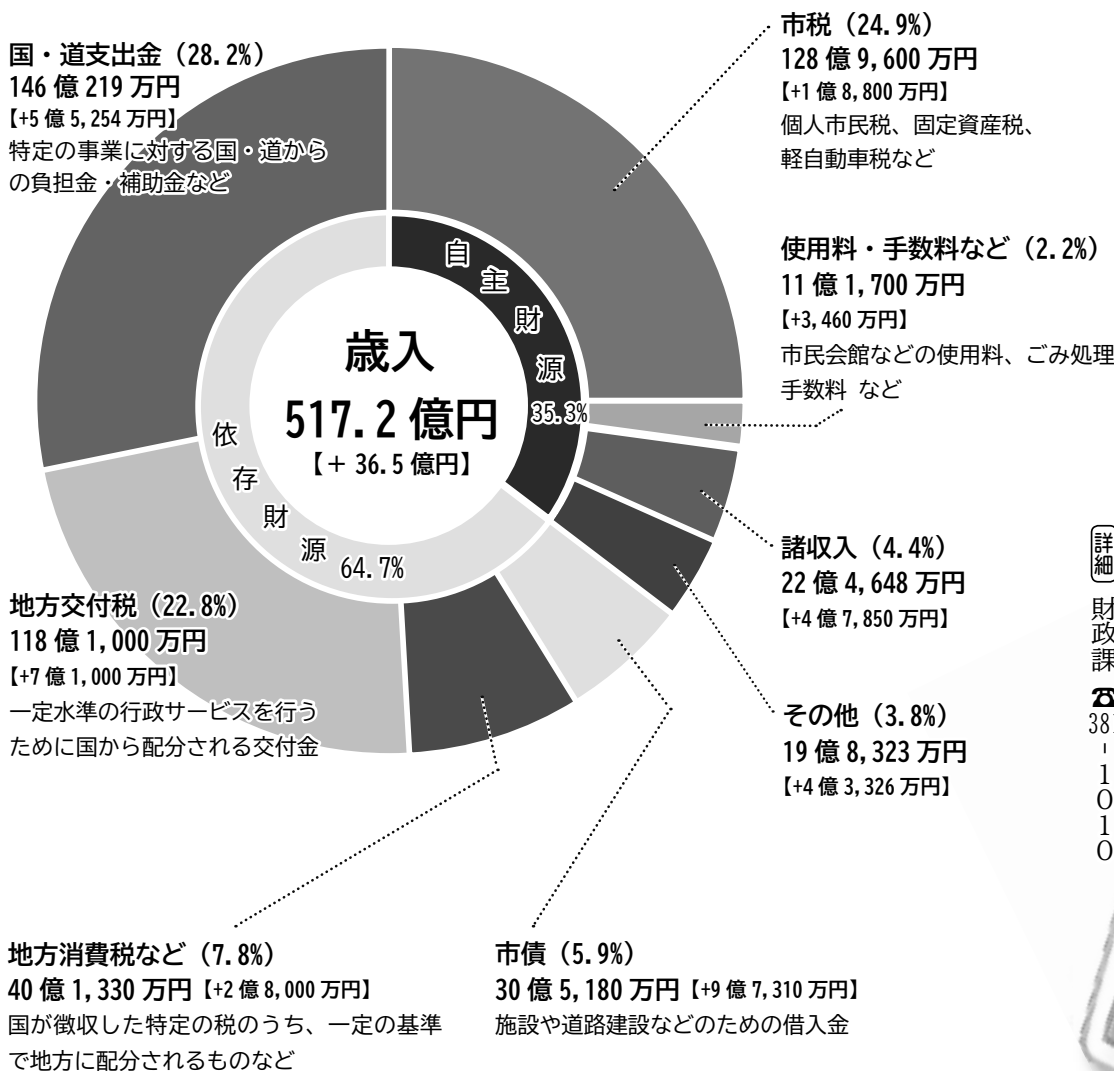
予算規模は拡大

一般会計の予算は、前年度から36億5千万円（7.6%）増加しています。また、特別会計と企業会計を含めた全会計の合計は、961億3,658万8千円となり、前年度と比べて38億9,086万5千円（4.2%）増加しました。

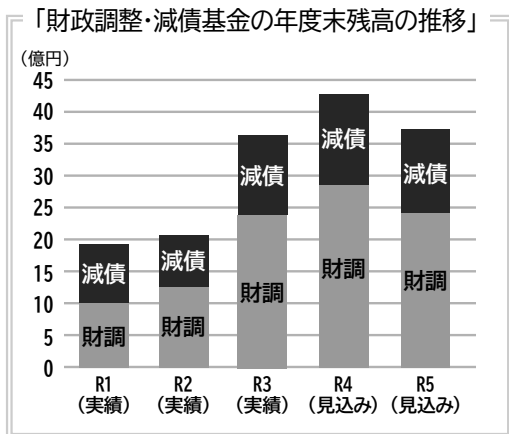
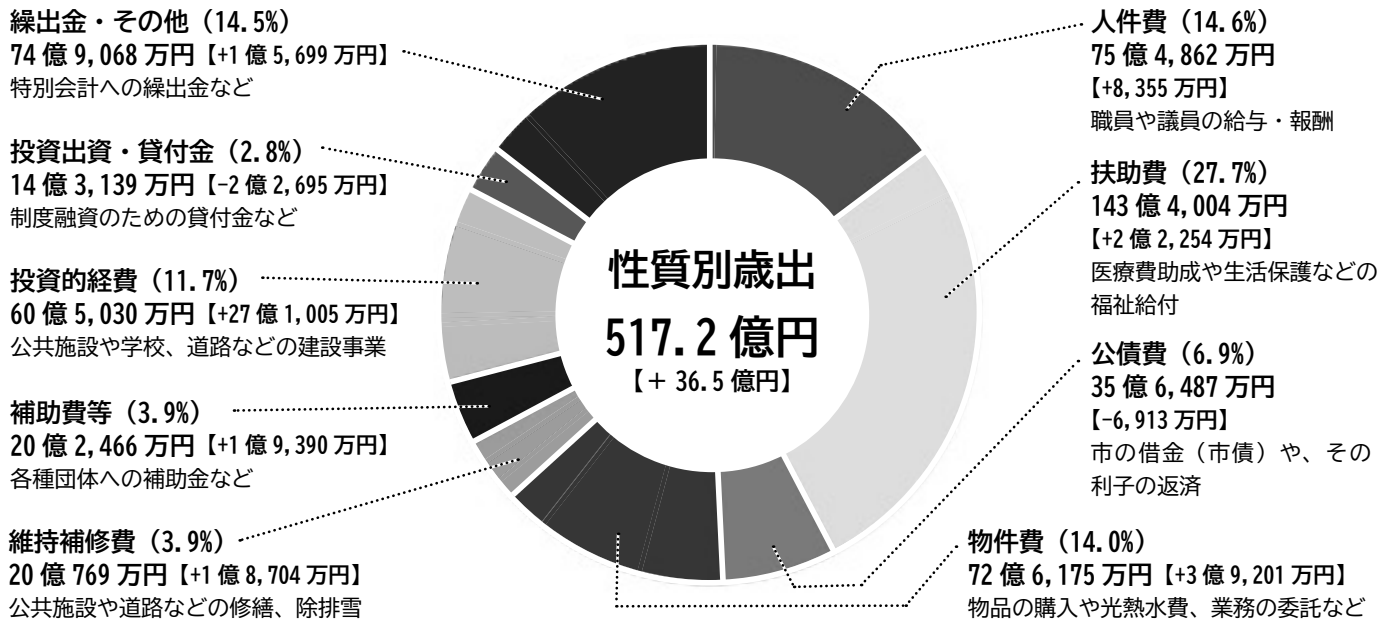
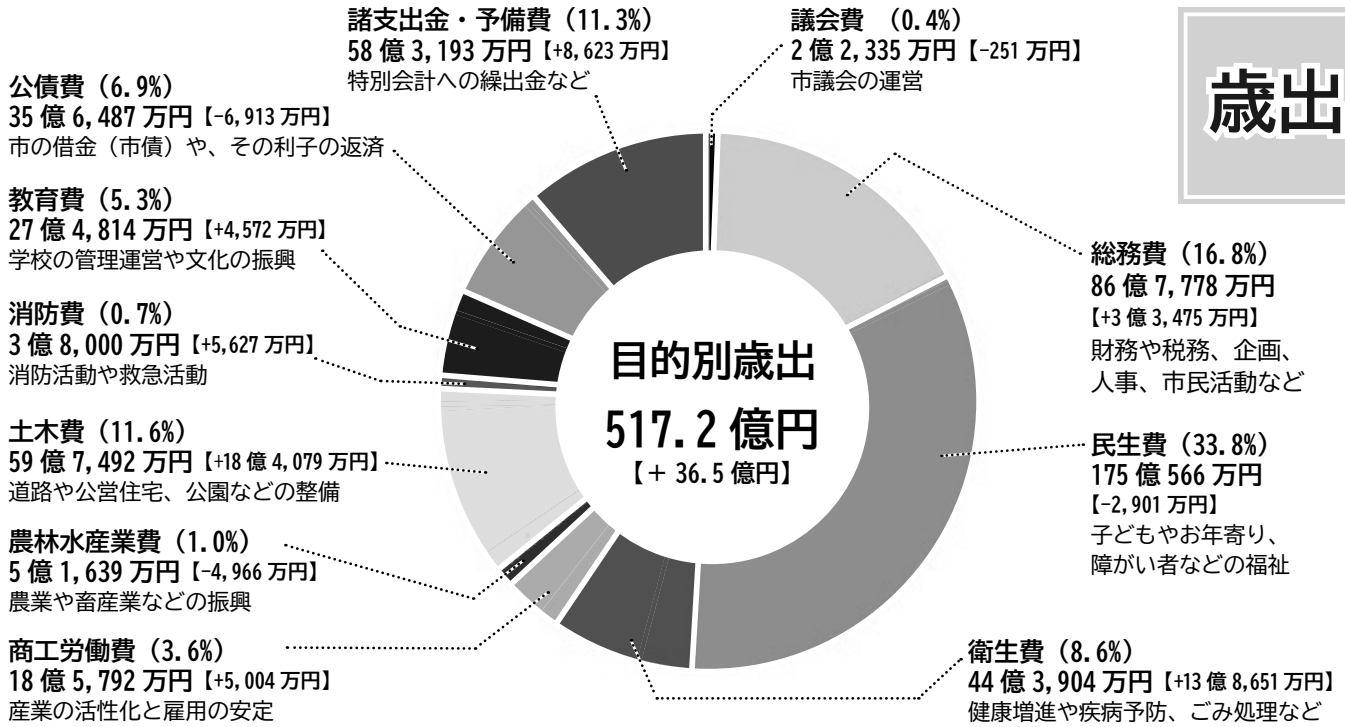
歳出は、福祉・医療などの社会保障費の増加に加え、環境クリーンセンター基幹的設備改良事業など、投資的

歳入

【 】内は前年度比
※ 1万円未満の金額を整理して記載しています



歳出



経費の増加や原油価格・物価高騰などの影響により増加しています。

また歳入は、個人市民税や固定資産税の増により市税の増加が見込まれるほか、消費の拡大により地方消費税交付金の増加が見込まれます。一方、国による臨時財政対策債の減少により、一般財源総額は微増となる見込みです。

基金は減少の見込み

基金は、大型事業の実施、災害や不測の事態への備えなど、目的をもって積み立て、活用しています。

基金残高は、経費の圧縮などにより、令和4年度は増加が見込まれますが、令和5年度は、原油価格・物価高騰などの影響により歳出が増加することから、減少となる見込みです。

今後とも、さらなるコストの縮減や自主財源の確保など、健全な財政の維持に努めます。

令和5年度

主な事業



安心して暮らせるまち

子どもから高齢者まで、あらゆる人が健康的に安心して暮らせるように、福祉・保健・医療サービスを充実するとともに、地域防災力の向上を図り、生活する上での様々な不安を解消して安全・安心を確保することをめざします。



地域連携避難所運営訓練

事業名	金額	主な内容
新規 救急医療対策事業 (内科系二次救急)	1,161万円	休日・夜間の内科系二次救急患者を受け入れる民間医療機関に補助
除排雪事業	15億7,808万円	未利用市有地の活用などによる排雪の強化、雪堆積場の受入体制強化
消防通信指令システム共同整備事業	9,536万円	消防通信指令システムの工事開始
地域防災力向上支援事業	239万円	地域連携避難所運営訓練、避難所運営訓練(自治会単位)
生涯活躍のまち整備事業	855万円	拠点地域を中心とした地域交流事業の実施



活力のあるまち

人がいきいきと暮らす活力あふれるまちとなるように、市民の暮らしを支える農業や商工業などの市の産業を活性化するとともに、生きがいや心の豊かさを育む文化やスポーツ活動などを充実し、まちにぎわいや活力を生み出していくことをめざします。



かわまちづくり勉強会

事業名	金額	主な内容
新規 かわまちづくり事業	1億7,124万円	旧岡田倉庫の解体工事
観光振興計画推進事業	1,624万円	新規 第2次江別市観光振興計画の策定
ふるさと納税普及促進事業	2億1,260万円	新規 ご当地ポイント券の導入、ふるさと納税者への返礼品などの贈呈
えべつ観光協会支援事業	2,332万円	えべつ観光協会を中心とした観光推進の支援
旧町村農場保存活用推進事業	2億299万円	旧町村農場の改修工事

令和5年度予算に計上した事業の一部を、「4つのまちづくりの基本理念」に沿って紹介します。詳細は、「絵で見る江別市予算案」(下記QRコード)をご覧ください。





子育てひろば『ぽこあぽこ』



GIGA スクール構想推進事業

市の未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように、子育て支援や教育内容などの充実を図ることで、子どもを産み育てる魅力あふれるまちをめざします。



子育て応援のまち

事業名	金額	主な内容
新規 出産子育て応援交付金事業	8,653万円	妊娠時と出産後の面談後にそれぞれ5万円を支給（R5.4～R6.3における妊娠・出産が対象）
新規 子どもの生活実態調査事業	367万円	タブレット端末、郵送によるアンケート調査の実施
新規 子育てひろばぽこあぽこ改修事業	3,300万円	大型複合遊具などを一新、入退館管理システムの更新
新規 市内高等学校・大学教育助成事業	300万円	市内高等学校・大学への支援を目的としたふるさと納税の活用による補助
GIGA スクール構想推進事業	4,749万円	回線の切替えによるインターネットの高速化、学習用タブレットの運用保守
学校給食原材料費高騰対策事業	4,712万円	江別市学校給食会への補助

特別会計の予算

259億7,400万円

（前年度比3億6,900万円増）

- ・国民健康保険特別会計
…125億2,200万円
- ・後期高齢者医療特別会計
…20億1,300万円
- ・介護保険特別会計
…108億7,100万円
- ・基本財産基金運用特別会計
…5億6,800万円

予算には、一般会計のほかに、特別会計と企業会計があります。

それぞれ公共料金や利用料などの独自収入があり、一般会計と切り離すことで、事業の収支が明確にわかるようにしています。

企業会計の詳細は、10ページをご覧ください。



環境クリーンセンター

市の豊かな自然を次代に引き継いでいけるように、再生可能エネルギーの推進やごみの資源化を推進するとともに、野幌森林公園や石狩川などの自然環境と触れ合うことにより、人と自然が共生するまちをめざします。



環境にやさしいまち

事業名	金額	主な内容
生ごみ減量化推進事業	73万円	新規 「食品のてまえどり」の啓発用卓上のぼり設置
環境管理計画等策定事業	454万円	第2次環境管理計画の策定
最終処分場整備事業	4,403万円	第2期最終処分場の基本設計
環境クリーンセンター基幹的設備改良事業	12億2,110万円	焼却施設と不燃粗大施設の改修
環境教育等推進事業	383万円	えべつ環境広場の開催

市立病院

☎ 382-5151
[詳細] 管理課財務係



予算と前年度(決算見込み)の比較増減

区分		R5年度	R4年度 (決算見込み)	比較増減
入院	収益	34.5億円	30.8億円	3.7億円
	患者数	69,174人	62,490人	6,684人
	1日平均患者数	189人	171人	18人
外来	収益	18.6億円	19.1億円	-0.5億円
	患者数	137,295人	142,675人	-5,380人
	1日平均患者数	565人	587人	-22人
当年度純損益		0.3億円	4.6億円	-4.3億円
一般会計繰入金		14.7億円	14.7億円	0.0億円
一般会計長期借入金残高		21.5億円	22.8億円	-1.3億円
累積欠損金		3.8億円	※4.1億円	-0.3億円

※ R3年度に減資を実施したため、R4年度期首の累積欠損金は8.7億円

市立病院では令和4年度から地方公営企業法全部適用へ移行し、新たな経営体制の下、重点医療機関として新型コロナウイルス感染症患者の診療対応や発熱外来を運用するとともに、感染症対策を行いながら通常診療の継続に努めました。

また、財政面では収支の見える化を進め、経営改善の見直しをもって取り組める形に見直しました。

さらに、「高度先進地域医療」の実現に向け、近隣自治体と連携し、医育大学との共同研究に向けた準備を進めてきました。

令和5年度は収支均衡に向け策定した「江別市立病院経営再建計画」の最終年度となります。計画に掲げている「地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する病院」を実現するため、職員一丸となって医療の質と経営の質の両立を目指して、下記の事項に取り組みます。

主な取り組み事項

▼ 急性期医療の充実、収益性の高いマネジメントの実施

- ・リハビリテーションの人員体制強化によるリハビリ単位数の増加
- ・「北海道がん診療連携指定病院」の指定を念頭に、緩和ケアチームを運営し、緩和ケア診療加算の取得を目指す

▼ 外来機能の高度化と専門化

- ・消化器内科の体制強化による消化器系がん医療の充実
- ・外来抗がん剤治療の質向上を図り、外来化学療法の連携充実加算取得を目指す

▼ 他の医療機関との連携強化

- ・患者支援センターによる訪問活動などを行い、地域の医療機関との関係作りを進める
- ・高度医療機器や専門外来のPRを強化し、紹介患者の受け入れと逆紹介を推進
- ・市内医療機関との連携による内科系二次救急の輪番制導入に取り組む

▼ 「働き方改革」の推進

- ・ICTシステムの拡充による、WEB受付などの医療サービス向上
- ・新電子カルテシステムによる業務効率化

▼ 広報活動の充実

- ・リニューアルしたホームページの充実化を進め、医療機能や魅力などの情報発信を推進

▼ ガバナンス強化と人材育成

- ・経営目標の共有化と意思決定、進捗管理を明確化し、職員全体で目標を達成する体制構築を進める
- ・認定資格の取得など、医療の質の向上に向けた人材育成を計画的に推進
- ・「経営再建計画」の後継となる「経営強化プラン（仮称）」を策定し、経営強化を着実に推進

▼ 医育大学との共同研究

- ・医育大学と連携し、呼吸器分野における先進的な予防医療や消化器分野における先進的な内視鏡治療の共同研究に取り組む

▼ 感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れや発熱患者等の診療対応の継続
- ・通常診療における感染症対応の在り方の検討

下水道事業会計

56億465万円(前年度比1億4,916万円増)

主な事業

- ・管路整備事業 9,128万円
- ・管路施設改築更新事業 4億3,417万円
- ・処理場・ポンプ場施設改築更新事業 7億7,959万円

水道事業会計

41億1,116万円(前年度比1億8,312万円増)

主な事業

- ・基幹管路耐震化事業 3億8,436万円
- ・配水管整備事業 2億8,742万円
- ・配水施設整備事業 440万円
- ・浄水施設整備事業 3億1,938万円

☎ 385-1214

[詳細] 水道部総務課財務係

令和5年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき、基幹管路の耐震化や処理場・ポンプ場の設備更新などを行います。

上下水道

小児用ワクチンの変更点

【3回目接種の接種期間】

5か月 ⇒ 3か月

【3回目接種のワクチンの種類】

オミクロン株 (BA.4/5) 対応ワクチン

※ 1、2回目接種は従来のワクチンを使用

江別市へ転入された方へ

接種を希望し、令和5年4月10日以降に江別市へ転入された方は、接種券の申請が必要です。申請方法は、市ホームページをご覧ください。



ワクチンの予約 / お問い合わせ先

■ インターネット予約

市のホームページ (右のQRコード) から予約してください。



■ 電話予約 / 予約のお問い合わせ

江別市新型コロナワクチンコールセンター

☎ 011-600-1234 (8:45 ~ 17:15)

※ 土日、祝日も受け付けています。

■ 副反応などに関するお問い合わせ

北海道専門相談ダイヤル

☎ 0120-306-154 (9:00 ~ 17:30)

※ 土日、祝日も受け付けています。

新型コロナワクチン 最新情報

※ 掲載内容は後から変更される場合があります

【詳細】 新型コロナウイルス感染症対策室 ☎ 385-8910

令和5年度コロナワクチン接種の 国の方向性が示されました

現行の公費負担によるコロナワクチン接種実施期間は、令和5年度末までに延長されます。

令和5年度の接種は、接種期間が区切られ、対象者も期間ごとに異なります。これまでの「ひとり何回接種する」という考えではなく、「各接種期間内に対象者は1回接種できる」という考え方が変わります。

接種券は、オミクロン株対応ワクチンを接種後、3か月経過した方に、年齢帯に分けて、4月末から順次発送する予定です。オミクロン株対応ワクチンを未接種の方は、5月7日まで接種できますので、お早めに接種をご検討ください。

最新情報は、市ホームページなどでお知らせします。

【令和5年度の接種期間と対象者】

接種期間	対象者
① ~ 5/7	・オミクロン株対応ワクチンを未接種の方
② 5/8 ~ 8/31	・65歳以上の高齢者 ・基礎疾患を有する方 ・医療従事者、高齢者施設などの従事者
③ 9月以降	・追加接種が可能なすべての方 ※ ②の期間に接種した方を含む

※ いずれの対象者も「1、2回目接種を終了した5歳以上の方」が対象となります

ふだんの生活にプラス1 ここにもあるある！

協働のまちづくり

Part17

【詳細】 市民生活課 ☎ 381-1124

市民に愛される病院づくり

江別市立病院ボランティア・コスモスは、病院内の案内や受診時の補助、車椅子の介助など来院者のお手伝いのほか、花壇の手入れや緩和ケアの帽子制作など、さまざまな活動を行っています。また、バザーや開院記念日などに行っているロビーコンサート、小児科病棟での季節の行事など、患者さんや地域の皆さんが楽しめるイベントの企画も行っています。(コロナ禍で休止中の活動もあります)



市立病院が現在の場所で開院した当初から活動を続け、病院と共に歩みながら今年で25年目を迎えます。ふれあいといったわりの心で、地域に根ざし、市民に愛される病院づくりを支えています。

活動の問い合わせ：江別市立病院ボランティア・コスモス ☎ 382-5151 (内線 1921)

固定資産税・都市計画税、軽自動車税 (種別割) を スマホやパソコンで納付できます

4月から「地方税お支払サイト」やスマホ決済アプリを利用した納付ができるようになります。詳しくは、「地方税お支払サイト」をご覧ください。【詳細】 納税課 ☎ 381-1013



▼ 「地方税お支払サイト」の利用方法

- ① 「地方税お支払サイト」にアクセス
<https://www.payment.eltax.lta.go.jp/>
- ② 納付書に印字された eL-QR (QRコード) を読み取るか eL 番号 (納付書番号) を入力
- ③ 支払方法 (クレジットカードなど) を選択し、支払う



▲ 地方税お支払サイト

▼ スマホ決済アプリの利用方法

- スマホ決済アプリで、納付書に印字された eL-QR (QRコード) を読み取りし、支払う
- ※ 利用可能なスマホ決済アプリは「地方税お支払サイト」でご確認ください

※ eL-QR (QRコード) 付納付書を取り扱うことが可能な、全国の金融機関の窓口でも納付できます

※ 「地方税お支払サイト」やスマホ決済アプリを利用した場合は、領収証書が発行されません。また、車検などで納税証明書が必要な場合は、現金で納付してください

ゴミごみえべつ

第76号

【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383-4211

資源物の出し方

● ペットボトル

♻️マークの表示があるものに限ります。ふたと帯を外し、水ですすいでください。

※ ふたと帯は「燃やせるごみ」です。



● びん・缶

ふたを外し、水ですすいでください。

※ びんと缶は同じ袋で出すことができます。

● 白色トレイ

水ですすぎ、ラップなどを取り除いてください。

※ 納豆・カップ焼きそばの容器や色つきのトレイは「燃やせるごみ」です。

● 紙パック

水ですすぎ、開いて乾かしてください。

※ 段ボール、雑誌、新聞紙などは、自治会などで行っている集団資源回収に出し、リサイクルにご協力をお願いします。



危険ごみの出し方

● スプレー缶

「スプレー缶、ガスカセット缶」「蛍光管」「乾電池、ライター、水銀体温計、モバイルバッテリー、小型充電式電池」の区分で出してください。

● 電球

※ 電球(白熱球・LED電球)、割れたガラスや刃物は「燃やせないごみ」です。新聞紙などに包み、市の指定ごみ袋に入れて出してください。

● スプレー缶

できるだけ使い切り、穴を開けずに出してください。



危険!!!

充電式電池が入ったままの家電が燃やせないごみに混ざると、ごみ収集車やごみ処理施設での火災の原因となります。▼発火した充電式電池



● モバイルバッテリー・充電式電池

(リサイクルマークあり) ビニールテープで金属端子部分を覆って絶縁してから出してください。

● 充電式電池

充電式電池を家電から取り外し、透明または半透明の袋に入れて「危険ごみ」に出してください。

集団資源回収を利用しましょう

新聞紙や雑誌、段ボールなどは集団資源回収に出しましょう。

回収品目、回収日などは市ホームページで公開し

ていますが、詳細は各自治会、学校などが独自に決めていますので、各団体にお問い合わせください。



■ ごみの収集日を知りたい

収集日カレンダーをご覧ください。収集日カレンダーは、市役所本庁舎や市大麻出張所、情報図書館、水道庁舎、各公民館などで配布しています。

■ 詳細なごみの出し方を知りたい

分別の手引きをご覧ください。分別の手引きは、右のQRコードから。



分別の手引きを見てもわからない場合は、「ごみの出し方相談ダイヤル(☎ 384-5600)」へお問い合わせください。

■ 指定ごみ袋などがほしい

市内のスーパーやコンビニなどで販売しています。販売店は右のQRコードから。



ご利用ください ごみ出しアプリ 5374.jp

スマートフォン、タブレット、パソコンなどで、お住まいの地域の収集日やごみの分別を手軽に調べられるアプリ「5374.jp」を無料で公開しています。ぜひご活用ください。



ごみ収集日を LINEでお知らせ

市LINE公式アカウントでは、ごみ収集日の朝にメッセージでお知らせしています。※友だち追加後、受信設定が必要です。



ごみに関する情報を発信 ゴミザムライ SNS

▼ Instagram



▼ Twitter



家庭ごみの出し方

● 燃やせるごみ、燃やせないごみ

市の「指定ごみ袋」に入れて出してください。



▲ 指定ごみ袋

● 袋に収まらないごみ

長さ1m以下で、指定ごみ袋に収まらないものは、「ごみ処理券」を貼って出してください。

● 大型ごみ



▲ ごみ処理券

その後、打ち合わせた場所に「大型ごみ処理シール」を貼って出してください。



▲ 大型ごみ処理シール

● 多量ごみ

ごみステーションに一度に出せるごみの量は4人世帯でおおむね120リットルまでです。一度に多量のごみを出したい場合は、江別リサイクル事業協同組合(☎385-7124)に収集を依頼するか、環境クリーンセンターへ直接持ち込んでください。(どちらも有料)

環境クリーンセンターに家庭ごみを搬入する時の注意点

- ① ごみは市内で発生したものに限り、原則、自分で搬入してください。市内在住が確認できるもの(免許証・公共料金領収書など)が必要です。
- ② 「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」に分別して搬入し、袋は中身が見えるものを使用してください。また、指定ごみ袋、ごみ処理券、大型ごみ処理シールは使用できません。
- ③ 搬入の際は、監視員の指示に従い、自分でごみを降ろしてください。また、安全のためお待ちいただくことがあります。
- ④ 土曜・祝日は大変混雑し、1時間以上お待ちいただく場合もあります。下のQRコードから、混雑予想カレンダーをご覧ください。

環境クリーンセンター
(八幡122 ☎391-0422)

【受付時間】

9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00

※年始、日曜日を除く

【ごみ処理手数料】

10kgにつき150円



ご利用ください じゅんかんコンビニ 24

株式会社マテックが運営しており、市の回収ボックスより投入口が大きい回収ボックスが設置してありますので、こちらをご利用ください。

じゅんかんコンビニ 24 江別店 (向ヶ丘3-1)

じゅんかんコンビニ 24 大麻元町店 (大麻元町 161-52)

リサイクルステーション上江別店 (上江別 430-19)

▼ 小型家電



▼ 古着・古布



【回収対象品目】

市ホームページ(左のコピー)を確認するか、廃棄物対策課(☎383-4211)にお問い合わせください。

マナーを守って利用しましょう 小型家電 古着・古布 回収ボックス

【利用時の注意点】

◆ 回収対象品目以外は投入しないでください。

◆ 投入口(15cm×45cm)に入らない家電は回収できません。

◆ ボックスが満杯の時は、周囲に置かないでください。

